



Solaris™ 9 9/05 Sun™ ハードウェアマニュアル

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 819-3182-10
2005 年 9 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com, Netra, Sun VTS, Sun HSI, Sun Forum, Sun ATM, Java 3D, ShowMe, Sun StorEdge, Sun Blade, Sun Fire, Sun Enterprise, Sun Enterprise Ultra, Power Management, OpenBoot, JumpStart, Ultra, Sun FDDI, Sun Swift, Sun Fast Ethernet, Sun Quad Fast Ethernet, Voyager, は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Adobe® ロゴおよび PostScript ロゴは、Adobe Systems 社の商標または登録商標です。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Energy Star のロゴは、米国 EPA の登録商標です。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

SunForum™ 3.2 については、以下の注意点が適用されます: Copyright© DATA CONNECTION LIMITED 2000; TELES AG 2000. 本ソフトウェアの一部は Copyright© 1996-1998 RADVision Ltd により保護されています。DATA CONNECTION は米国およびその他の国における DATA CONNECTION LIMITED の登録商標です。

OpenGL 1.3: OpenGL® は、米国およびその他の国における Silicon Graphics 社の登録商標です。

Sun Enterprise™ 10000 COD: RSA Data Security, MD5 Message Digest Algorithm をもとに作成されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Solaris 9 9/05 Sun Hardware Platform Guide
	Part No: 817-2946-10
	Revision A



Adobe PostScript

目次

はじめに vii

1. Solaris ディスクからのソフトウェアのインストール 1
 - インストールする前に Sun Fire および Netra サーバーのファームウェアをアップグレードする (Bug ID 4747307、4799331) 2
 - Solaris ソフトウェアの自動インストール 3
 - サポートされるプラットフォーム名とプラットフォームグループ 3
 - 32 ビットカーネル — 200 MHz 以下の UltraSPARC システムのデフォルト 7
 - システムカーネルのサポート 8
 - サポートされるグラフィックス 9
2. サプリメント CD のソフトウェアのインストール 11
 - サプリメント CD ソフトウェア 12
 - サプリメント CD のソフトウェアのインストール 14
 - サプリメント CD のソフトウェアをインストールする前に 14
 - Solaris のインストールにおけるサプリメント CD のソフトウェアのインストール 14
 - Solaris Web Start を使用したサプリメント CD のソフトウェアのインストール 14
 - pkgadd によるスタンドアロンシステムへのサプリメント CD ソフトウェアのインストール 15
 - SunVTS (診断テスト) ソフトウェア 18

SunVTS のパッケージ	20
SunVTS のインストール	20
SunVTS ソフトウェアの使用方法	20
OpenGL ソフトウェア	20
プラットフォームのサポート	21
古いソフトウェアパッケージの削除	21
OpenGL のパッケージ	22
OpenGL のインストール	23
インストール後の作業	23
ローカルでアプリケーション実行時の描画速度が遅い場合	24
Sun サーバー用 Sun Remote System Control	25
SunForum	26
SunForum のインストール	26
オンラインヘルプ	27
サプリメント CD に含まれるネットワークアダプタのドライバ	27
ドライバのインストール	27
ネットワークアダプタドライバの特記事項	27
VLAN の構成	28
Java 3D 1.3.1 API	32
インストールに必要な条件	32
Java 3D 1.3.1 API のインストール	33
Sun Enterprise 10000 SSP	33
Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0	33
Netra ct Platform ソフトウェア	33
3. サプリメント CD に収録されているマニュアル	35
AnswerBook2 マニュアルと Solaris 9 9/05 リリース	35
サプリメント CD に収録されているマニュアル	36
インストールしたパッケージ内のマニュアルの参照	38

Solaris 9 9/05 on Sun Hardware Documentation Set	39
Sun マニュアルページのパッケージ	42
Sun マニュアルページのインストール	42
Sun マニュアルページの使用方法	43
サプリメント CD のその他のマニュアル	43
4. Sun のハードウェアにおける電源管理	45
サポートされるプラットフォームとシステム間の違い	45
システムアーキテクチャーの違いとデフォルト設定	47
SPARCstation 4 に関する注意事項	48
5. OpenBoot 緊急時の処理	49
従来の (非 USB) キーボードが接続されたシステムでの OpenBoot 緊急時の処理	49
USB キーボードが接続されたシステムでの OpenBoot 緊急時の処理	50
Stop-A の機能	50
Stop-N の機能	50
Stop-F の機能	52
Stop-D の機能	52
A. サプリメント CD の各言語対応パッケージ一覧	53
日本語化されたパッケージ	54
ドイツ語化されたパッケージ	55
イタリア語化されたパッケージ	55
フランス語化されたパッケージ	57
スペイン語化されたパッケージ	57
スウェーデン語化されたパッケージ	59
中国語化されたパッケージ (繁体字)	59
中国語化されたパッケージ (簡体字)	61
韓国語化されたパッケージ	61

はじめに

このマニュアルでは、Solaris™ 9 9/05 オペレーティング環境でサポートされる Sun のハードウェアに関する重要な情報について説明します。

このマニュアルで説明する主な項目は以下のとおりです。

- プラットフォーム固有の Solaris 9 9/05 のインストール手順
- Solaris 9 9/05 Software Supplement CD (以降は「サブリメント CD」とする) に含まれるソフトウェアの説明とインストール手順
- Power Management™ ソフトウェアに関するハードウェア要件とソフトウェア要件

注 – Solaris 9 9/05 オペレーティング環境のインストール手順とサポートされるハードウェアに関する情報については、第 1 章を参照してください。サブリメント CD に収録されているソフトウェアのインストール方法については、第 2 章を参照してください。

インストールについての情報

Solaris 9 9/05 をインストールする前に、表 P-1 のユーザーの状況に合ったマニュアルのリストと表 P-2 の個別のインストール情報について確認してください。

表 P-1 関連マニュアル

マニュアル名	内容
インストールの手引き	インストールについて最初に参照するマニュアルです。
Solaris 9 インストールガイド	サーバーシステムへの Solaris オペレーティングシステムのインストールに関する補足情報を提供します。

表 P-2 個別のインストール情報

必要な情報	参照箇所
新規の製品および周辺機器情報	このマニュアルの第 1 章
最新の情報	1. 『Solaris 9 9/05 Sun ハードウェアマニュアル (補足)』 2. 『Solaris 9 9/05 ご使用にあたって』
Solaris CD からインストールプロセスを開始する方法	1. このマニュアルの第 1 章 2. 『Solaris 9 インストールの手引き』
サブリメント CD から、使用するプラットフォームや周辺機器用のソフトウェアをインストールする方法	このマニュアルの第 2 章

マニュアルの構成

このマニュアルは、以下の章で構成されています。

第 1 章では、特定のサポートされている Sun のプラットフォームやハードウェアオプションへ Solaris 9 9/05 をインストールまたはアップグレードする方法についてインストール手順を追加説明し、『Solaris 9 インストールの手引き』を補足しています。また、追加でサポートされるフレームバッファカードについても記載し、『Sun フレームバッファ使用の手引き』を補足しています。

第 2 章では、Sun のプラットフォームやハードウェアオプションへのソフトウェアのインストール方法と Sun のハードウェアのユーザー向けに提供されている付加価値ソフトウェアについて説明します。

第 3 章では、サプリメント CD に収録されているマニュアルの位置とその形式について説明します。

第 4 章では、Sun のハードウェアで電源管理システムソフトウェアを実行する際のハードウェア要件とソフトウェア要件について説明します。

第 5 章では、一部のシステムにおける新しい OpenBoot™ 緊急時の手続きについて説明します。

注 – Sun Fire™ 6800、4810、4800、および 3800 システムについて、このマニュアルに以前に記載されていた情報は、現在『Sun Fire ミッドレンジシステムプラットフォーム管理ガイド』に記載されています。

シェルプロンプトについて

シェル	プロンプト
UNIX の C シェル	<i>machine_name%</i>
UNIX の Bourne シェルと Korn シェル	\$
スーパーユーザー (シェルの種類を問わない)	#

書体と記号について

書体または記号*	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	.login ファイルを編集します。 ls -a を実行します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	% su Password:
AaBbCc123 またはゴシック	コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。	rm filename と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「 」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	% grep `^#define` \ XV_VERSION_STRING'

* 使用しているブラウザにより、これらの設定と異なって表示される場合があります。

Sun のオンラインマニュアル

各言語対応版を含む Sun の各種マニュアルは、次の URL から表示または印刷、購入できます。

<http://www.sun.com/documentation>

Sun の技術サポート

このマニュアルに記載されていない技術的な問い合わせについては、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.sun.com/support/contacting>

コメントをお寄せください

マニュアルの品質改善のため、お客様からのご意見およびご要望をお待ちしております。コメントは下記よりお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。

Solaris 9 9/05 Sun ハードウェアマニュアル、Part No. 819-3182-10

第1章

Solaris ディスクからのソフトウェアのインストール

この章では、以下の項目について説明します。

- 2 ページの「インストールする前に Sun Fire および Netra サーバーのファームウェアをアップグレードする (Bug ID 4747307、4799331)」
- 3 ページの「Solaris ソフトウェアの自動インストール」
- 3 ページの「サポートされるプラットフォーム名とプラットフォームグループ」
- 7 ページの「32 ビットカーネル — 200 MHz 以下の UltraSPARC システムのデフォルト」
- 8 ページの「システムカーネルのサポート」
- 9 ページの「サポートされるグラフィックス」

注 - このリリースの Solaris の初期インストール手順については、ディスクに同梱されている『インストールの手引き』を参照してください。詳細については、『Solaris 9 インストールガイド』を参照してください。

インストールする前に Sun Fire および Netra サーバーのファームウェアをアップグレードする (Bug ID 4747307、4799331)

特定の Sun Fire および Netra™ サーバーに Solaris 9 9/05 オペレーティング環境をインストールするには、まず最初にサーバーのファームウェアを更新する必要があります。Solaris 9 9/05 ソフトウェアをインストールする前に、ファームウェアを更新していない場合は、サーバーでパニックが生じます。この問題は、以下のサーバーに影響します。

- Sun Fire 3800 サーバー
- Sun Fire 4800 サーバー
- Sun Fire 4810 サーバー
- Sun Fire 6800 サーバー
- Sun Fire V1280 サーバー
- Netra 1280 サーバー

この問題が発生した場合、以下のエラーメッセージが表示されます。

```
panic[cpu0]/thread=140a000: BAD TRAP: type=34 rp=147e9e0  
addr=5586ee326973add3 mmu_fsr=0
```

ok プロンプトが表示されます。

回避策:

Sun Fire 3800、4800、4810、または 6800 サーバーの場合は、ファームウェア更新 5.15.4 または 5.15.3 などの使用可能な最新のファームウェアパッチを適用してください。

Sun Fire V1280 または Netra サーバーの場合は、5.13.0014 などの使用可能な最新のファームウェアパッチを適用してください。

ファームウェアの更新用パッチは、以下の Web サイトで入手できます。

<http://sunsolve.sun.com>

必ず、最新バージョンのパッチをダウンロードして適用してください。

Solaris ソフトウェアの自動インストール

表 1-1 に示している Sun のハードウェアで Solaris 9 9/05 をインストール/アップグレードする際、前節のファームウェアに関する作業を除き、特別な作業を行う必要はありません。使用する Sun のハードウェアへの Solaris 9 9/05 オペレーティング環境の自動インストールの手順については、『Solaris 9 インストールガイド』を参照してください。

サポートされるプラットフォーム名とプラットフォームグループ

以下の作業を行う場合には、システムのアーキテクチャー (プラットフォームグループ) を把握する必要があります。

- サブネットに起動サーバーを設定する場合
- ネットワークインストール用にクライアントを追加する場合 (スタンドアロン、サーバー、ディスクレス)

カスタム JumpStart™ のインストール設定ファイルを記述する場合は、プラットフォーム名についても把握する必要があります。

表 1-1 に、Solaris 9 9/05 リリースに対応した Sun のハードウェアシステムのプラットフォーム名とプラットフォームグループの一覧を分類して示します。

表 1-1 Sun システムのプラットフォーム名

システム	プラットフォーム名	プラットフォームグループ	32 ビットのみ*	32 ビットと 64 ビット†	64 ビットのみ‡
ワークステーションシステム					
Sun Blade™ 100	SUNW,Sun-Blade-100	sun4u			X
Sun Blade 150	SUNW,Sun-Blade-100	sun4u			X
Sun Blade 1000	SUNW,Sun-Blade-1000	sun4u			X
Sun Blade 1500	SUNW,Sun-Blade-1000	sun4u			X
Sun Blade 2000	SUNW,Sun-Blade-1000	sun4u			X
Sun Blade 2500	SUNW,Sun-Blade-1000	sun4u			X

表 1-1 Sun システムのプラットフォーム名 (続き)

システム	プラットフォーム名	プラットフォームグループ	32 ビットのみ [†]	32 ビットと 64 ビット [†]	64 ビットのみ [‡]
Ultra™ 1	SUNW,Ultra-1	sun4u		X	
Ultra 2	SUNW,Ultra-2	sun4u		X	
Ultra 5	SUNW,Ultra-5_10	sun4u		X	
Ultra 10	SUNW,Ultra-5_10	sun4u		X	
Ultra 30	SUNW,Ultra-30	sun4u		X	
Ultra 60	SUNW,Ultra-60	sun4u		X	
Ultra 80	SUNW,Ultra-80	sun4u		X	
Ultra 450	SUNW,Ultra-4	sun4u		X	
SPARCstation™ 4	SUNW,SPARCstation-4	sun4m	X		
SPARCstation 5	SUNW,SPARCstation-5	sun4m	X		
SPARCstation 10	SUNW,SPARCstation-10	sun4m	X		
SPARCstation 20	SUNW,SPARCstation-20	sun4m	X		
SPARCclassic	SUNW,SPARCclassic	sun4m	X		
SPARCstation LX	SUNW,SPARCstation-LX	sun4m	X		
SPARCstation LX+	SUNW,SPARCstation-LX+	sun4m	X		
エン트리/ワークグループサーバー					
Sun Fire V100	SUNW,UltraAX-i2	sun4u			X
Sun Fire V120	SUNW,UltraAX-i2	sun4u			X
Sun Fire V210	SUNW,Sun-Fire-V210	sun4u			X
Sun Fire V240	SUNW,Sun-Fire-V240	sun4u			X
Sun Fire V250	SUNW,Sun-Fire-V250	sun4u			X
Sun Fire 280R	SUNW,Sun-Fire-280R	sun4u			X
Sun Fire V440	SUNW,Sun-Fire-V440	sun4u			X
Sun Fire V480	SUNW,Sun-Fire-480	sun4u			X
Sun Fire V490	SUNW,Sun-Fire-490	sun4u			X
Sun Fire V880	SUNW,Sun-Fire-880	sun4u			X
Sun Fire V890	SUNW,Sun-Fire-890	sun4u			X

表 1-1 Sun システムのプラットフォーム名 (続き)

システム	プラットフォーム名	プラットフォームグループ	32 ビットのみ*	32 ビットと 64 ビット†	64 ビットのみ‡
Sun Fire B100s	SUNW,Serverblade1	sun4u			X
Sun Fire B10n	SUNW,Serverblade1	sun4u			X
Sun Enterprise™ 1	SUNW,Ultra-1	sun4u		X	
Sun Enterprise 2	SUNW,Ultra-2	sun4u		X	
Sun Enterprise Ultra™ 5S	SUNW,Ultra-5_10	sun4u		X	
Sun Enterprise Ultra 10S	SUNW,Ultra-5_10	sun4u		X	
Sun Enterprise 150	SUNW,Ultra-1	sun4u		X	
Sun Enterprise 250	SUNW,Ultra-250	sun4u		X	
Sun Enterprise 450	SUNW,Ultra-4	sun4u		X	
Sun Enterprise 220R	SUNW,Ultra-60	sun4u		X	
Sun Enterprise 420R	SUNW,Ultra-80	sun4u		X	
ミッドレンジサーバーおよびミッドフレームサーバー					
Sun Fire V1280	SUNW,Netra-T12	sun4u			X
Sun Fire 3800	SUNW,Sun-Fire	sun4u			X
Sun Fire 4800	SUNW,Sun-Fire	sun4u			X
Sun Fire 4810	SUNW,Sun-Fire	sun4u			X
Sun Fire 6800	SUNW,Sun-Fire	sun4u			X
Sun Fire E2900	SUNW,Sun-Fire	sun4u			X
Sun Fire E4900	SUNW,Sun-Fire	sun4u			X
Sun Fire E6900	SUNW,Sun-Fire	sun4u			X
Sun Fire V4900	SUNW,Sun-Fire	sun4u			X
Sun Fire V6900	SUNW,Sun-Fire	sun4u			X

表 1-1 Sun システムのプラットフォーム名 (続き)

システム	プラットフォーム名	プラットフォームグループ	32 ビットのみ [†]	32 ビットと 64 ビット [†]	64 ビットのみ [‡]
Sun Enterprise 3000	SUNW,Ultra-Enterprise	sun4u		X	
Sun Enterprise 4000	SUNW,Ultra-Enterprise	sun4u		X	
Sun Enterprise 5000	SUNW,Ultra-Enterprise	sun4u		X	
Sun Enterprise 6000	SUNW,Ultra-Enterprise	sun4u		X	
Sun Enterprise 3500	SUNW,Ultra-Enterprise	sun4u		X	
Sun Enterprise 4500	SUNW,Ultra-Enterprise	sun4u		X	
Sun Enterprise 5500	SUNW,Ultra-Enterprise	sun4u		X	
Sun Enterprise 6500	SUNW,Ultra-Enterprise	sun4u		X	
ハイエンドサーバー					
Sun Fire E20K	SUNW,Sun-Fire-Enterprise-20K	sun4u			X
Sun Fire E25K	SUNW,Sun-Fire-Enterprise-25K	sun4u			X
Sun Fire 12K	SUNW,Sun-Fire-12000	sun4u			X
Sun Fire 15K	SUNW,Sun-Fire-15000	sun4u			X
Sun Enterprise 10000	SUNW,Ultra-Enterprise	sun4u		X	
Netra サーバー					
Netra 20	SUNW,Netra-T4	sun4u			X
Netra 120	SUNW,UltraAX-i2	sun4u			X
Netra 240	SUNW,Netra-240	sun4u			X
Netra 440	SUNW,Netra-440	sun4u			X
Netra 1280	SUNW,Netra-T12	sun4u			X
Netra T1 AC200/DC200	SUNW,UltraAX-i2	sun4u			X
Netra X1	SUNW,UltraAX-i2	sun4u			X
Netra ct400	SUNW,UltraSPARC-IIi-Netract	sun4u			X

表 1-1 Sun システムのプラットフォーム名 (続き)

システム	プラットフォーム名	プラットフォームグループ	32 ビットのみ*	32 ビットと 64 ビット†	64 ビットのみ‡
Netra ct800	SUNW,UltraSPARC-IIi-Netract	sun4u			X
Netra ct820	SUNW,Netra-CP2300	sun4u			X
Netra CP 2300	SUNW,Netra-CP2300	sun4u			X
Netra t1 100	SUNW,UltraSPARC-IIi-cEngine	sun4u		X	
Netra t1 105	SUNW,UltraSPARC-IIi-cEngine	sun4u		X	
Netra t 1120	SUNW,Ultra-60	sun4u		X	
Netra t 1125	SUNW,Ultra-60	sun4u		X	
Netra t 1400	SUNW,Ultra-80	sun4u		X	
Netra t 1405	SUNW,Ultra-80	sun4u		X	

* 32 ビットのカーネルまたはドライバのみをサポートするプラットフォーム。

† 32 ビットのカーネルまたはドライバを起動できる 64 ビットプラットフォーム。システムは、32 ビットカーネルでは 32 ビットのアプリケーションとドライバをサポートし、64 ビットカーネルでは 32 ビットまたは 64 ビットのアプリケーションと 64 ビットのドライバをサポートします。

‡ 32 ビットのカーネルまたはドライバをサポートしていない 64 ビットプラットフォーム。

サポートされている x86 ベースのシステムについては、以下の Web サイトにある『Solaris Hardware Compatibility List』を参照してください。

<http://www.sun.com/bigadmin/hcl>

その他すべてのシステムのプラットフォームについての詳細は、『Solaris 9 インストールガイド』を参照してください。

32 ビットカーネル — 200 MHz 以下の UltraSPARC システムのデフォルト

200 MHz 以下の UltraSPARC™ システム上では、プロセッサの動作を停止させることがある 64 ビットプログラムが実行される危険性があります。64 ビットプログラムは、Solaris 32 ビットカーネル上では実行できないため、これらのシステムでは、デフォルトで Solaris 32 ビットカーネルが起動されます。

プロセッサの動作を停止させるようなコードシーケンスは非常にまれで、通常コンパイラからの生成は不可能となっています。このようなコードシーケンスを生成するためには、アセンブラコードで明確に書かれている必要があります。なお、規則どおりに書かれた手書きのアセンブラルーチンが、このようなコードシーケンスを使用することはほとんどありません。

プロセッサの動作を停止させるようなプログラムは、これらのシステムで Solaris 64 ビットカーネルを実行する場合があります。

システムのプロセッサの速度を確認するには、以下のように入力します。

```
# /usr/sbin/psrinfo -v
```

規則ファイルを変更することで、デフォルトのカーネルを 32 ビットから変更することができます。/platform/**プラットフォーム名**/boot.conf ファイルを開き、ALLOW_64BIT_KERNEL_ON_UltraSPARC_1_CPU 変数のコメントを解除し、以下に示すように、値を true に設定します。

```
ALLOW_64BIT_KERNEL_ON_UltraSPARC_1_CPU=true
```

詳細は、boot(1M) のマニュアルページを参照してください。

システムをアップグレードすることで対処する場合は、購入先にお問い合わせください。

システムカーネルのサポート

すべての SPARC® システムで 32 ビットのアプリケーションを実行できます。新しい SPARC プロセッサ (UltraSPARC ベースのシステム) では、完全な 64 ビットカーネルを起動および実行できます。完全な 64 ビットカーネルでは、32 ビットのアプリケーションと 64 ビットのアプリケーションを同時に実行することができます。

64 ビットカーネルを実行するシステムには、カーネルに直接読み込む 64 ビット版のドライバとその他のソフトウェアモジュールが必要です。アプリケーションの中にはこれらの構成要素に依存しているものがあり、この結果、32 ビットカーネルあるいは 64 ビットカーネルに固有な構成要素のバージョンが必要となることがあります。32 ビットのアプリケーションは 64 ビットのライブラリにリンクすることはできません。また、64 ビットのアプリケーションを 32 ビットのライブラリにリンクすることもできません。Solaris 9 9/05 オペレーティングシステムには、32 ビットと 64 ビットの両方のバージョンのシステムライブラリが含まれています。

表 1-1 に、どのシステムで 64 ビットおよび 32 ビットのアプリケーションを実行できるか、そして、どのシステムで 32 ビットカーネル、64 ビットカーネル、あるいは両方のカーネルを起動できるかを示します。

サポートされるグラフィックス

Sun Graphics Platform Matrix には、各種グラフィックスアクセラレータとともに、各アクセラレータがサポートする Sun のハードウェアおよびソフトウェアプラットフォームの一覧が示されています。

Sun Graphics Platform Matrix を含め、グラフィックスアクセラレータに関するすべてのマニュアルは、以下の Web サイトから参照できます。

<http://www.sun.com/desktop/products/graphics>

今までにリリースされたカードの詳細については、『Sun フレームバッファ使用の手引き』を参照してください。

第2章

サブリメント CD のソフトウェアのインストール

この章では、Solaris 9 9/05 サブリメント CD に収録されているソフトウェアの内容を説明します。このマニュアルでは、この CD をサブリメント CD と呼びます。この章の内容は、Solaris 9 9/05 DVD に収録されているサブリメント CD にも当てはまります。

この章では、以下の項目について説明します。

- 12 ページの「サブリメント CD ソフトウェア」
- 14 ページの「サブリメント CD のソフトウェアのインストール」
- 18 ページの「SunVTS (診断テスト) ソフトウェア」
- 20 ページの「OpenGL ソフトウェア」
- 25 ページの「Sun サーバー用 Sun Remote System Control」
- 26 ページの「SunForum」
- 27 ページの「サブリメント CD に含まれるネットワークアダプタのドライバ」
- 28 ページの「VLAN の構成」
- 32 ページの「Java 3D 1.3.1 API」
- 33 ページの「Sun Enterprise 10000 SSP」
- 33 ページの「Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0」
- 33 ページの「Netra ct Platform ソフトウェア」

サプリメント CD ソフトウェア

表 2-1 は、サプリメント CD に収録されている各ソフトウェアのタイプとともに、それらがデフォルトでインストールされるのかどうかを示しています。

表 2-1 Solaris 9 9/05 サプリメント CD の内容とインストールの状態

ソフトウェア製品	Solaris 9 9/05 バージョン	デフォルトイン ストール
Java 3D™ ソフトウェア	1.3.1	○
OpenGL® ソフトウェア	1.3	○
Sun Enterprise サーバー用 Sun Remote System Control (RSC)	2.2.3	○
SunATM™ ドライバ	5.1	○
SunForum™ ソフトウェア	3.2	○
SunHSI™ PCI ドライバ	3.0	○
SunVTS™ ソフトウェア	5.1 Patch Set 10	○
Lights Out Management ソフトウェア	2.0	×
Netra ct Platform ソフトウェア	1.0	×
Netra t11 Alarms ソフトウェア	2.0	×
Sun Enterprise 10000 Capacity On Demand (COD) ソフトウェア	1.0	×
Sun Enterprise 10000 SSP ソフトウェア	3.5	×
Sun Fire B10n content load balancing blade	1.1	×

以下の表には、現在の Solaris 9 9/05 リリースのソフトウェアの各バージョンを、過去の Solaris 9 リリースと比較した形で示しています。

表 2-2 Solaris 9 サプリメント CD バージョン履歴

ソフトウェア製品	Solaris 9	Solaris 9 9/02	Solaris 9 12/02	Solaris 9 4/03	Solaris 9 8/03	Solaris 9 12/03	Solaris 9 4/04	Solaris 9 9/04	Solaris 9 9/05
Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
Java 3D	1.2.1_ 04	1.2.1_ 04	1.2.1_0 4	1.2.1_ 04	1.3	1.3.1	1.3.1	1.3.1	1.3.1
Netra ct Platform	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
Netra t11xx Alarms	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

表 2-2 Solaris 9 サプリメント CD バージョン履歴 (続き)

ソフトウェア製品	Solaris 9	Solaris 9 9/02	Solaris 9 12/02	Solaris 9 4/03	Solaris 9 8/03	Solaris 9 12/03	Solaris 9 4/04	Solaris 9 9/04	Solaris 9 9/05
Lights Out Management	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
OpenGL	1.2.2	1.2.3	1.2.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
PC launcher	1.0.1	1.0.1	1.0.2	1.0.2	1.0.2	1.0.2	---	---	---
PC file viewer	1.0.1	1.0.1	---	---	---	---	---	---	---
Sun Enterprise サーバー 用 Sun Remote System Control (RSC)	2.2.1	2.2.1	2.2.1	2.2.1	2.2.1	2.2.2	2.2.2	2.2.2	2.2.3
ShowMe™ TV	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	---	---	---	---
SunATM	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1
SunFDDI™ PCI	3.0	3.0	3.0	---	---	---	---	---	---
SunFDDI SBus	7.0	7.0	7.0	---	---	---	---	---	---
SunForum	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
SunHSI PCI	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
SunHSI SBus	3.0	3.0	3.0	---	---	---	---	---	---
SunVTS	5.0	5.1	5.1 Patch Set 1	5.1 Patch Set 2	5.1 Patch Set 3	5.1 Patch Set 4	5.1 Patch Set 5	5.1 Patch Set 6	5.1 Patch Set 10
Sun Enterprise 10000 System Service Processor	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
Sun Fire B10n content load balancing blade	---	---	---	---	---	1.1	1.1	1.1	1.1
System Management Services ソフトウェア (Sun Fire ハイエンドシ ステム用)	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	1.4	---	---
WBEM-based Dynamic Reconfiguration (WDR)	---	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	---

サプリメント CD のソフトウェアのインストール

サプリメント CD からソフトウェアをインストールするには、以下の 3 種類の方法があります。

- Solaris のインストールの一部としてインストール
- Solaris Web Start
- pkgadd

サプリメント CD のソフトウェアをインストールする前に

以前のバージョンのサプリメント CD ソフトウェアがインストールされている場合、該当するソフトウェアに関連するパッケージを削除してから新しいソフトウェアをインストールしてください。

Solaris のインストールにおけるサプリメント CD のソフトウェアのインストール

Solaris のインストールでは、「デフォルトインストール」と「カスタムインストール」のいずれかを選択するようメッセージが表示されます。CD と DVD のどちらからインストールしても、デフォルト設定は同じです。

インストールプロセスでは、Software Supplement CD からデフォルトでインストールされる既定の製品セットが表示されます。「カスタムインストール」を選択すると、これらの設定を変更することができます。

Solaris Web Start を使用したサプリメント CD のソフトウェアのインストール

Solaris オペレーティングシステムがすでにインストールされている場合は、Solaris Web Start を使用してサプリメント CD のソフトウェアをインストールすることができます。

▼ Solaris Web Start を使用して サブリメント CD のソフトウェアをインストールする

1. サブリメント CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. シェルを起動して、以下のように入力します。

```
# cd /cdrom/cdrom0  
# ./installer
```

3. Solaris Web Start GUI が表示されます。「次へ」をクリックします。
4. インストールする言語ロケールを選択し、「次へ」をクリックします。
5. 表示されている一覧からインストールするソフトウェアコンポーネントを選択し、「次へ」をクリックします。

サブリメント CD のソフトウェアコンポーネントがすべて一覧表示され、すでに選択されているソフトウェアは「デフォルトインストール」と表示されています。デフォルトでインストールされるコンポーネントが必要でないときは「インストールしない」というラジオボタンを選択したり、「カスタムインストール」を選択してデフォルト以外のコンポーネントを追加したりすることもできます。サブリメント CD に収録されているソフトウェアコンポーネントは、表 2-1 に一覧表示されています。

6. 「カスタムインストール」でソフトウェアを選択する場合は、次に表示される画面に従って、ダウンロードするコンポーネントを 1 つずつ選択します。

「カスタムインストール」で選択したソフトウェアの中には、クライアントバージョンとサーバーバージョンのいずれかなど、特定のコンポーネントをインストールするよう選択できるものもあります。

pkgadd によるスタンドアロンシステムへのサブ リメント CD ソフトウェアのインストール

▼ pkgadd を使用してサブリメント CD から製品パッケージ をスタンドアロンシステムにインストールする

1. サブリメント CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
「ファイルマネージャ」ウィンドウが表示されます。
2. シェルで su コマンドを実行し、パスワードを入力してスーパーユーザーになります。

3. 以下のコマンドを入力します。

```
# /usr/sbin/pkgadd -d /cdrom/cdrom0/ディレクトリ/Product パッケージ名
```

または、

```
# cd /cdrom/cdrom0/ディレクトリ/Product  
# pkgadd -d . パッケージ名
```

ディレクトリは、表 2-3 のソフトウェア製品のディレクトリです。パッケージ名は、表 2-3 のパッケージ名です。

-d オプションの引数には、デバイスまたはディレクトリの絶対パス名を入力します。パッケージが格納されているデバイスの指定を省略した場合は、pkgadd により、デフォルトのプールディレクトリ (/var/spool/pkg) が検索されます。パッケージが見つからない場合、インストールは失敗します。

以下に示す、製品別の適切なパッケージをインストールします。

表 2-3 製品別のパッケージ

ソフトウェア製品	バージョン	ディレクトリ	パッケージ
ValidationTest Suite ソフトウェア (SunVTS)	5.1 Patch Set 10	SunVTS_5.1_PS10/	SUNWvts
			SUNWvtsmn
			SUNWvtsx
OpenGL 実行時ライブラリ	1.3	OpenGL_1.3/	SUNWgldoc
			SUNWgldp
			SUNWgldpx
			SUNWglh
			SUNWglrt
			SUNWglrtu
			SUNWglrtx
			SUNWglsr
			SUNWglsrx
			SUNWglsrz
RSC (Remote System Control)	2.2.3	RSC_2.2.3/	SUNWrsc
			SUNWrscd
			SUNWrscj

表 2-3 製品別のパッケージ (続き)

ソフトウェア製品	バージョン	ディレクトリ	パッケージ
SunForum	3.2	SunForum_3.2/	SUNWdat SUNWdatu SUNWkeep SUNWphone
SunFDDI PCI ドライバ	3.0	SunHSI_PCI_3.0/	SUNWhsip SUNWhsipm SUNWhsipu
Java 3D	1.3.1	Java3D_1.3.1/	SUNWj3doc SUNWj3dem SUNWj3drt SUNWj3dut
SunATM 5.1	5.1	SunATM_5.1/	SUNWatm SUNWatma SUNWatmu
Sun Enterprise 10000 SSP	3.5	System_Service_Processor_3.5/	SUNWsspue SUNWsspst SUNWsspr SUNWssppe SUNWsspob SUNWsspnm SUNWsspnd SUNWssppf SUNWsspdr SUNWsspdo SUNWsspdp
Sun Enterprise 10000 Capacity On Demand (COD) ソフトウェア	1.0	Capacity_on_Demand_1.0/	SUNWcod SUNWcodmn
Sun Fire B10n content load balancing blade ソフトウェア	1.1	Sun_Fire_B10n_Load_Balancing_Blade_1.1/	SUNWclbut SUNWclbx.u
Netra ct Platform ソフトウェア	1.0	Netra_ct_Platform_1.0/	SUNW2jdrt SUNWctac SUNWcteux SUNWctevx SUNWctmgx

表 2-3 製品別のパッケージ (続き)

ソフトウェア製品	バージョン	ディレクトリ	パッケージ
Netra t11xx Alarms ソフトウェア	2.0	Netra_t11xx_Alarms_2.0/	SUNWtsalm SUNWtsalr SUNWtsalu
Lights Out Management ソフトウェア	2.0	Lights_Out_Management_2.0/	SUNWlomm SUNWlomr SUNWlomu
Solaris On Sun Hardware Documentation	1.0	Solaris_On_Sun_Hardware_Documentation/	SUNWdhshw SUNWdpshw

注 – SMS ソフトウェア用パッケージはサプリメント CD に含まれていません。SMS のインストール方法と `smsinstall` コマンドの使用方法については、『System Management Services インストールマニュアル』を参照してください。

注 – 地域対応化されたパッケージの名称と説明については、付録 A を参照してください。

パッケージのインストール中に問題が発生すると、その問題に関する情報が表示され、そのあとに以下のメッセージが表示されます。

```
Do you want to continue with this installation?
```

yes、**no**、**quit** のいずれかを入力してください。

SunVTS (診断テスト) ソフトウェア

SunVTS (Sun Validation and Test Suite) は、Sun のハードウェアをテストするための診断プログラムです。SunVTS では、複数のハードウェア診断テストを実行することにより、32 ビットおよび 64 ビットの Solaris オペレーティング環境において、ほとんどの SPARC ハードウェア制御装置とデバイスの接続性、機能性を評価することができます。

SunVTS は、開発者に独自のテスト・診断ツールを作成する基盤を提供します。このとき作成したツールは、SunVTS と共通のインタフェースで実行できます。

SunVTS アプリケーションに関するソフトウェアとマニュアルは、サプリメント CD に収録されています。

使用しているハードウェアにもっとも適した、より新しい SunVTS 5.1 Patch Set が入手可能な場合があります。サブリメント CD に収録されている Patch Set より新しい Patch Set をシステムで使用している場合は、<http://www.sun.com/documentation> でそのバージョンをサポートする SunVTS のマニュアルを参照できます。

表 2-4 に、SunVTS 環境の主な機能を示します。

表 2-4 SunVTS 診断プログラムの概要

機能	機能説明
SunVTS カーネル (vtsk)	SunVTS カーネルは、テストの全段階を制御します。デーモンとしてバックグラウンドに存在し、必要なときだけに使用されます。SunVTS カーネルは、起動後にテスト対象のシステムのハードウェア構成を調べ、SunVTS ユーザーインタフェースからの命令を待ちます。テスト中は、各テストの実行を調整し、これらのテストから送られてくるすべてのメッセージ (情報メッセージとエラーメッセージ) を管理します。
SunVTS CDE ユーザーインタフェース (vtsui)	このインタフェースは、共通デスクトップ環境 (CDE) で動作します。このインタフェースでは、ローカルまたは遠隔ホストに対して、SunVTS テストセッションの構成、実行、および監視を行うことができます。
SunVTS TTY ユーザーインタフェース (vtstty)	モニターを備えていないシステム用に、SunVTS には TTY インタフェースが用意されています。カーソルを動かすことにより SunVTS のテストセッションを管理することができます。SunVTS は、端末、シェルツール、モデム経由の遠隔ログインセッションから使用することができます。
コマンド行からの各テストの実行	各テストは、SunVTS ユーザーインタフェースからだけでなく、UNIX® のコマンド行からも実行することができます。評価対象のハードウェアが 1 つだけの場合は、そのテストだけを実行する方が便利です。
カスタムテストのサポート	SunVTS の環境において、サン製品以外の実行形式テストバイナリを実行することができます。この場合は、入力引数リストや出力ログファイルの管理はすべて、SunVTS のカーネルではなく、そのテスト自身が行うこととなります。SunVTS 環境との関連を少なくするには、SunVTS によって作成される .customtest ファイルを編集します。

SunVTS のパッケージ

SunVTS を使用するために必要なパッケージを、表 2-5 に示します。

表 2-5 サプリメントCD に収録されている SunVTS のパッケージ

収録パッケージ	名称	機能説明
SUNWvts	Validation Test Suite	SunVTS カーネル、ユーザーインタフェース、テストとツール
SUNWvtsmn	Validation Test Suite Manual Pages	SunVTS のユーティリティとバイナリのマニュアルページ (英語)
SUNWvtsx	Validation Test Suite	64 ビット版診断テストソフトウェア

SunVTS のインストール

14 ページの「サプリメント CD のソフトウェアのインストール」を参照してください。

SunVTS ソフトウェアの使用方法

SunVTS ソフトウェアの使用方法については、サプリメント CD に収録されている Solaris 9 9/05 on Sun Hardware Documentation-ja 内の、SunVTS マニュアルを参照してください。

このリリースの新しい機能、テスト、テストの機能拡張については、『SunVTS 5.1 Patch Set 10 Documentation Supplement』を参照してください。

テスト構成モード、インタフェース、およびオプション全般については、『SunVTS ユーザーマニュアル』を参照してください。

個別のテストおよびクイックリファレンス情報については、『SunVTS テストリファレンスマニュアル』および『SunVTS リファレンスカード』を参照してください。

OpenGL ソフトウェア

Sun OpenGL ソフトウェアは、OpenGL アプリケーションプログラミングインタフェース (API) を Solaris に実装したものです。OpenGL API は業界標準、ベンダー中立のグラフィックスライブラリです。このライブラリは、いくつかの幾何図形プリ

ミティブ描画機能と、多数の基本および高度 3D 描画機能 (変形、シェーディング、ライティング、平滑化、テクスチャーマッピング、フォグ、アルファブレンディングなど) を提供します。

プラットフォームのサポート

Sun OpenGL 1.3 ソフトウェアは、以下のデバイスをサポートしています。

- Creator グラフィックス、Creator3D グラフィックス、Elite3D グラフィックス、Expert3D グラフィックス、XVR-500、および XVR-1000 グラフィックス OpenGL 機能がハードウェアによって高速化されます。
- SX、GX、GX+、TGX、TGX+、S24 OpenGL 機能がソフトウェアで実行されます。
- TCX、SX、GX、Creator、Elite3D、Expert3D、XVR-500、および XVR-1000 ファミリのグラフィックスアクセラレータを搭載しているすべての Sun SPARC システム。Ultra ワークステーション、Sun Enterprise、従来の SPARCstation ファミリが含まれます。

古いソフトウェアパッケージの削除

古いバージョンの Sun OpenGL ソフトウェアパッケージがある場合は、`pkgrm` コマンドを使用して削除する必要があります。

▼ 古いパッケージを削除する

1. `pkginfo` コマンドを使用して、古いバージョンの OpenGL パッケージがインストールされているかどうかを調べます。

以下のように、`pkginfo | egrep -i "OpenGL"` と入力します。インストールされている OpenGL パッケージの情報が表示されます。

```
% pkginfo | egrep -i "OpenGL"
application SUNWffbgl      Creator Graphics (FFB) OpenGL Support
application SUNWglrt      OpenGL Runtime Libraries
application SUNWglrtu     OpenGL Platform Specific Runtime Libraries
application SUNWafbgl     Loadable pipeline for UPA Bus Elite3D graphics
application SUNWgldoc     Solaris OpenGL Documentation and Man Pages
application SUNWglh       Solaris OpenGL Header Files
application SUNWglut      Solaris OpenGL Utilities and Example Programs
```

2. スーパーユーザーになります。

```
% su
Password: スーパーユーザーのパスワード
```

3. pkgrm を実行し、既存の Sun OpenGL 関連パッケージをすべて削除します。

```
# pkgrm SUNWglrt SUNWglh...
```

OpenGL のパッケージ

Sun OpenGL で提供されるパッケージを、表 2-6 に示します。

表 2-6 OpenGL ソフトウェアパッケージ

パッケージ名	機能説明	デフォルトのインストール場所
SUNWglh	OpenGL ヘッダーファイル	/usr
SUNWgl dp	Creator、Creator3D、Elite3D、Expert3D、Expert3D-Lite、XVR-500、XVR-1000、XVR-1200、および XVR-4000 グラフィックスアクセラレータに対応した、OpenGL 32 ビットのロード可能なパイプライン	/usr/openwin/lib/GL/ devhandlers
SUNWgl dpx	Creator、Creator3D、Elite3D、Expert3D、Expert3D-Lite、XVR-500、XVR-1000、XVR-1200、および XVR-4000 グラフィックスアクセラレータに対応した、OpenGL 64 ビットのロード可能なパイプライン	/usr/openwin/lib/sparcv9/ GL/devhandlers
SUNWglrt	OpenGL クライアント側実行時ライブラリ	/usr/openwin/lib
SUNWgl sr	OpenGL SPARC 汎用描画モジュール	/usr/openwin/lib
SUNWgl rtu	UltraSPARC 用 OpenGL ライブラリ	/usr/openwin/platform/ sun4u/lib/GL
SUNWgl srz	OpenGL UltraSPARC 用描画モジュール	/usr/openwin/platform/sun4 u/lib/GL

表 2-6 OpenGL ソフトウェアパッケージ (続き)

パッケージ名	機能説明	デフォルトのインストール場所
SUNWgldoc	OpenGL のマニュアルおよびマニュアルページ	/usr/openwin/share
SUNWglrtx	Sun OpenGL 64 ビット実行時ライブラリ	/usr/openwin
SUNWglsrc	OpenGL SPARC 64 ビット UltraSPARC 用描画モジュール	/usr/openwin/platform/sun4u/lib/sparcv9/GL

OpenGL のインストール

14 ページの「サブリメント CD のソフトウェアのインストール」を参照してください。

インストール後の作業

パッケージのインストールを終えたら、以下の作業を行います。

▼ パッケージのインストールを確認する

1. ウィンドウシステムを再起動し、新たにインストールした拡張 GLX サーバー機能を読み込みます。
2. `ogl_install_check` を実行し、OpenGL ライブラリが正しくインストールされているかどうかを確認します。

`ogl_install_check` テストプログラムによって、使用されている OpenGL ライブラリとレンダリングプログラムのバージョンが示され、回転する輪が描画されます。たとえば、UltraSPARC Creator3D で実行した場合は、以下のように表示されます。

OpenGL Vendor:	Sun Microsystems, Inc.
OpenGL Version:	Sun OpenGL 1.3 for Solaris

Sun OpenGL で問題が発生した場合は、以下の値を書き留めておいてください。問題の診断を行う際に役立ちます。

```
OpenGL Renderer:          Creator 3D, VIS
OpenGL Extension Support:  GL_EXT_texture3D
                           GL_SGI_color_table
                           GL_SUN_geometry_compression
                           GL_EXT_abgr
                           GL_EXT_rescale_normal
OpenGL GLX Server:       Detail Status Report
  GLX:      Context is direct.
  GLX:      OpenGL Rendering in use
  GLX:      Double Buffering in use
  GLX:      Color Buffer (GLX_BUFFER_SIZE) = 24 bits
  GLX:      Depth Buffer (GLX_DEPTH_SIZE) = 28 bits
  GLX:      Stencil Buffer (GLX_STENCIL_SIZE) = 4 bits
  GLX:      RGBA (True Color/Direct Color) Visual in use
OpenGL Library:          Detail Status Report
  Number of color bits (R/G/B/A): 8/8/8/0
  Frame Buffer Depth (GL_DEPTH_BITS):28
```

ローカルでアプリケーション実行時の描画速度が遅い場合

Sun OpenGL は、描画速度を高速にするために、できるかぎり X サーバーをバイパスし、フレームバッファに対し直接描画処理を行おうとします。これは、Sun の DGA 機構によって画面の一部がロックされることにより実現されます。ただし、Solaris のセキュリティー機能により、DGA を使用した画面の一部のロックは、最初にウィンドウシステムにログインしたユーザーだけに許可されます。したがって、ウィンドウシステムの所有者以外のユーザーが DGA を使用することはできません。

描画速度が遅い原因は、このセキュリティー機能にある可能性があります。たとえば、あるユーザーがウィンドウシステムを起動し、同じワークステーションで別のユーザーが su を使用して自分専用の環境に切り替えた場合は、2 人目のユーザーは、ローカルにアプリケーションを実行することはできますが、DGA を使用してアプリケーションを実行することはできません。

ローカルでのアプリケーションの実行時に描画速度が遅い場合は、`/usr/openwin/demo/GL` にある `ogl_install_check` 診断プログラムを実行し、DGA を介してアプリケーションが実行されているかどうかを調べてください。`ogl_install_check` からの OpenGL GLX サーバー状態レポートに、GLX コンテキストが間接的であることが示されている場合は、すべてのユーザーが DGA にアクセスできるように、ログインアクセス権を変更します。

▼ すべてのユーザーに DGA へのアクセス権を与える

1. スーパーユーザーになります。

```
% su
Password: スーパーユーザーのパスワード
```

2. すべてのユーザーが、以下のデバイスに読み取り・書き込みをできるように、アクセス権を変更します。

```
% chmod 666 /dev/mouse /dev/kbd /dev/sound/* /dev/fbs/*
```

これで、現在のウィンドウシステムセッション中に、すべてのユーザーが DGA を使用できるようになります (X の認証に依存、xhost(1) を参照)。

3. ウィンドウシステムの再起動後も、引き続きすべてのユーザーが読み取り・書き込みをできるようにする場合は、`/etc/logindevperm` ファイルを開き、記述されているすべてのデバイスのデフォルトのアクセス権を変更します。0666 に変更すると、読み・書きアクセスが可能になります。

たとえば、`logindevperm` ファイルの次の行の 0600 を 0666 に変更した場合は、次回ログインしてウィンドウシステムを再起動した際に、すべてのユーザーが引き続き DGA にアクセスすることができます。

```
/dev/console    0600    /dev/mouse:/dev/kbd
/dev/console    0600    /dev/sound/*      # audio devices
/dev/console    0600    /dev/fbs/*        #frame buffers
```

注 - この場合は、システムのセキュリティーが損なわれます。

Sun サーバー用 Sun Remote System Control

Sun Remote System Control (以下、RSC) は、セキュリティー保護されたサーバー管理ツールです。Solaris OS または Microsoft Windows クライアントからモデム回線やネットワークを通じて、Sun Enterprise 250 サーバー、Sun Fire 280R サーバー、Sun Fire V480 サーバー、Sun Fire V490 サーバー、Sun Fire V880 サーバー、または Sun Fire V890 サーバーを監視したり制御したりすることができます。RSC にはサー

バーに問題が発生したときに、システム管理者に告知する機能もあります。RSC によって、地理的に離れたシステムや物理的にアクセスできないシステムに対して、遠隔システム管理をすることができます。

Sun Enterprise 250 サーバー、Sun Fire 280R サーバー、Sun Fire V480 サーバー、Sun Fire V490 サーバー、Sun Fire V880 サーバー、または Sun Fire V890 サーバーは、RSC を利用するのに必要なすべてのハードウェア機能を備えています。

Sun サーバー用 Sun Remote System Control ソフトウェアは、サプリメント CD に収録されています。インストールについては、14 ページの「サプリメント CD のソフトウェアのインストール」を参照してください。Remote System Control の設定については、『Remote System Control (RSC) ユーザーマニュアル』を参照してください。

Microsoft Windows 98、Windows NT 4.0、または Windows 2000 が動作しているコンピュータ上に RSC クライアントソフトウェアをインストールするには、システムの CD-ROM ドライブにサプリメント CD を挿入します。InstallShield アプリケーションが自動的に起動したら、プロンプトでディレクトリ名を入力します。ユーザーが指定したこのディレクトリに、RSC 実行ファイルがインストールされます。

SunForum

SunForum は、Sun ワークステーション用の電子会議システムです。T.120 規格に準拠しており、イントラネットやインターネット経由で、Microsoft NetMeeting や PictureTel LiveShare Plus バージョン 4.0 などの他社の T.120 規格製品と Sun のコンピュータ間で電子会議を行うことができます。

SunForum の機能を以下に示します。

- T.120 規格に準拠した他の UNIX システムや PC と共有しているアプリケーションを、閲覧したり制御できます。
- 遠隔マシンから、ローカルマシン上の Solaris アプリケーションを共有して、閲覧したり制御できます。
- ホワイトボード、クリップボード、チャット、ファイル転送を使い、互いの意見やデータなどを送受信できます。

SunForum のインストール

14 ページの「サプリメント CD のソフトウェアのインストール」を参照してください。

『SunForum ソフトウェアインストールマニュアル』および『SunForum ソフトウェアユーザーマニュアル』は、15 ページの「pkgadd によるスタンドアロンシステムへのサブリメント CD ソフトウェアのインストール」で説明している SunForum ディレクトリ、および SunForum の Docs ディレクトリに PDF ファイルの形式で格納されています。

オンラインヘルプ

SunForum オンラインヘルプについては、SunForum メニューバーにあるヘルプメニューからヘルプを参照してください。

サブリメント CD に含まれるネットワークアダプタのドライバ

Solaris 9 9/05 メディアキット内のサブリメント CD には、以下のソフトウェアが含まれています。

- SunHSI PCI ドライバ
- SunATM ソフトウェア

ドライバのインストール

注 – サブリメント CD の各ドライバをインストールする前に、各アダプタのハードウェアがシステムに取り付けられているか確認してください。各アダプタの詳細については、それぞれの特記事項を参照してください。

14 ページの「サブリメント CD のソフトウェアのインストール」を参照してください。

ネットワークアダプタドライバの特記事項

各アダプタの詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

- 『特記事項: Sun GigabitEthernet デバイスドライバ』
- 『Platform Notes: SunHSI/P Device Driver』(英語版)
- 『Platform Notes: SunATM Driver Software』(英語版)

- 『特記事項: hme FastEthernet デバイスドライバ』
- 『特記事項: eri FastEthernet デバイスドライバ』
- 『特記事項: Sun GigaSwift Ethernet デバイスドライバ』
- 『特記事項: Quad FastEthernet デバイスドライバ』

VLAN の構成

Virtual Local Area Network (VLAN) は、一般的には、ネットワークユーザのグループを管理可能なブロードキャストドメインに分割し、ワークグループの論理セグメンテーションを作成し、また各論理セグメント間にセキュリティーポリシーを施行するために使用されます。1つのアダプタ上に複数の VLAN を使用することで、単一のアダプタを持つサーバーが、複数の IP サブネット上に論理的に存在することができます。デフォルトでは、サーバー上の VLAN を認識できる各アダプタに対して、512 個の VLAN を定義できます。

ネットワークで複数の VLAN を必要としない場合には、デフォルトの構成を使用することができます。追加の構成は不要です。

VLAN はさまざまな基準に従って作成できますが、それぞれの VLAN には、VLAN タグまたは VLAN ID (VID) を割り当てる必要があります。VID は 1 ~ 4094 の 12 ビットの識別子で、一意の VLAN を特定します。各ネットワークインタフェース (ce0、ce1、ce2 など。または、bge0、bge1、bge2 など) に対して、512 個の可能な VLAN を作成できます。IP サブネットは一般的に使用されるものであることから、VLAN ネットワークインタフェースを構築する場合には、IP サブネットを使用してください。このことは、物理ネットワークインタフェースの VLAN インタフェースに割り当てられるそれぞれの VID が、異なるサブネットに属することを意味します。

Ethernet フレームにタグを付けるには、そのフレームにタグヘッダーを追加する必要があります。このヘッダーは、着信先 MAC アドレスおよび発信元 MAC アドレスの直後に挿入されます。タグヘッダーは、2 バイトの Ethernet Tag Protocol Identifier (TPID, 0x8100) と 2 バイトの Tag Control Information (TCI) から構成されます。図 2-1 に Ethernet タグヘッダーの形式を示します。

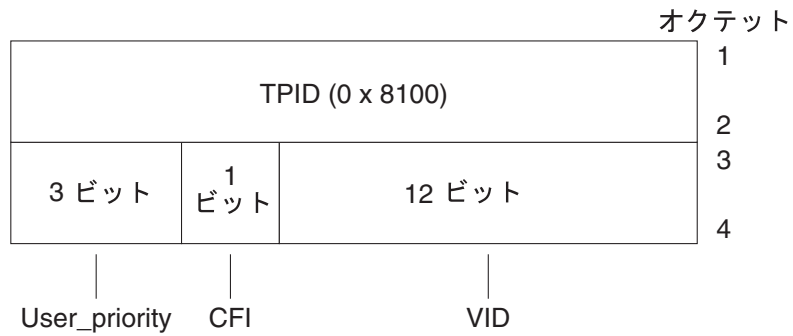


図 2-1 Ethernet タグヘッダーの形式

▼ 静的 VLAN の構成

1. 各 VLAN に対して 1 つの `hostname.cenum` ファイル (IPv6 の場合は `hostname6.cenum` ファイル) を作成し、それをサーバー上の各アダプタに構成します。

システム上のネットワークアダプタは、`ce` という文字では参照できないことがあります。たとえば、`hme`、`bge` などの別の文字によってアダプタが認識される場合があります。これを調べるには、次のように入力してください (この例の出力結果は、システムに `hme` アダプタが構成されている場合のものです)。

```
# ifconfig -a
lo0: flags=1000849<UP,LOOPBACK,RUNNING,MULTICAST,IPv4> mtu 8232 index 1
    inet 127.0.0.1 netmask ffffffff
hme0: flags=1000843<UP,BROADCAST,RUNNING,MULTICAST,IPv4> mtu 1500 index 2
    inet 129.156.200.77 netmask ffffffff broadcast 129.156.200.255
```

VID および Physical Point of Attachment (PPA) の両方を含む、次のネーミング形式を使用してください。

VLAN 論理 PPA = 1000 * VID + デバイス PPA
ce123000 = 1000 * 123 + 0

例: `hostname.ce123000`

VLAN 論理 PPA = 1000 * VID + デバイス PPA
bge11000 = 1000 * 11 + 0

例: `hostname.bge11000`

この形式では、構成できる PPA (インスタンス) の最大数が `/etc/path_to_inst` ファイル内で 1000 に制限されます。

たとえば、0 のインスタンスを持つ Sun GigabitEthernet/P 3.0 アダプタを搭載したサーバーが、VID として 123 および 224 をもつ 2 つの VLAN に属する場合、2 つの VLAN PPA として、それぞれ `ce123000` と `ce224000` を使用します。

0 のインスタンスを持つ Broadcom Gigabit Ethernet アダプタを搭載したシステムが、VID として 10 および 11 をもつ 2 つの VLAN に属する場合には、2 つの VLAN PPA として、それぞれ `bge10000` と `bge11000` を使用します。

2. `ifconfig(1M)` を使用して、たとえば次のように VLAN 仮想デバイスを構成します。

```
# ifconfig ce123000 plumb up
# ifconfig ce224000 plumb up
```

または、

```
# ifconfig bge10000 plumb up
# ifconfig bge11000 plumb up
```

VLAN デバイスの `ce123000` と `ce224000` を搭載したシステムでの `ifconfig -a` の出力は、次のようになります。

```
# ifconfig -a
lo0: flags=1000849<UP,LOOPBACK,RUNNING,MULTICAST,IPv4> mtu 8232 index 1
    inet 127.0.0.1 netmask ff000000
hme0: flags=1000843<UP,BROADCAST,RUNNING,MULTICAST,IPv4> mtu 1500 index 2
    inet 129.144.131.91 netmask ffffffff00 broadcast 129.144.131.255
    ether 8:0:20:a4:4f:b8
ce123000: flags=1000843<UP,BROADCAST,RUNNING,MULTICAST,IPv4> mtu 1500 index 3
    inet 199.199.123.3 netmask ffffffff00 broadcast 199.199.123.255
    ether 8:0:20:a4:4f:b8
ce224000: flags=1000843<UP,BROADCAST,RUNNING,MULTICAST,IPv4> mtu 1500 index 4
    inet 199.199.224.3 netmask ffffffff00 broadcast 199.199.224.255
    ether 8:0:20:a4:4f:b8
```

VLAN デバイスの `bge10000` と `bge11000` を搭載したシステムでの `ifconfig -a` の出力は、次のようになります。

```
# ifconfig -a
lo0: flags=1000849<UP,LOOPBACK,RUNNING,MULTICAST,IPv4> mtu 8232 index 1
    inet 127.0.0.1 netmask ff000000
bge0: flags=1004843<UP,BROADCAST,RUNNING,MULTICAST,DHCP,IPv4> mtu 1500 index 2
    inet 129.156.205.172 netmask ffffffff broadcast 129.156.205.255
    ether 0:3:ba:29:f0:de
bge10000: flags=201000842<BROADCAST,RUNNING,MULTICAST,IPv4,CoS> mtu 1500 index
3
    inet 10.0.0.2 netmask ffffffff broadcast 10.0.0.255
    ether 0:3:ba:29:f0:de
bge11000: flags=201000842<BROADCAST,RUNNING,MULTICAST,IPv4,CoS> mtu 1500 index
4
    inet 10.0.1.2 netmask ffffffff broadcast 10.0.1.255
    ether 0:3:ba:29:f0:de
```

3. スイッチ上で VLAN タグと VLAN ポートを設定して、サーバー上で設定した VLAN と一致するようにします。

手順 2 の例を使用して、スイッチまたは VLAN ポート 10 と 11 上の VLAN ポート 123 と 224 を設定します。

VLAN タグと VLAN ポートの設定の具体的な操作については、スイッチに添付されているマニュアルを参照してください。

Java 3D 1.3.1 API

Java 3D 1.3.1 API は、3D グラフィックスのアプリケーションおよびアプレットを書き込むためのひとまとまりのクラスです。開発者はこれらの高度な構成体により、3D ジオメトリの作成・操作、およびレンダリングに使用される構造体の構築が可能になります。アプリケーション開発者は、これらの構成体を使用するときわめて広大なバーチャル世界を描くことができます。また、Java 3D ソフトウェアには、バーチャル世界を効果的にレンダリングするための情報が格納されます。

インストールに必要な条件

Java 3D 1.3.1 API には、OpenGL ソフトウェア (バージョン 1.1 ~ 1.3) が必要です。

Java 3D 1.3.1 API のインストール

14 ページの「サブリメント CD のソフトウェアのインストール」を参照してください。

Sun Enterprise 10000 SSP

System Service Processor (SSP) のインストールとアップデート、最新情報については、Solaris 9 9/05 on Sun Hardware Documentation Collection に含まれる『Sun Enterprise 10000 SSP インストールマニュアルおよびご使用の手引き』を参照してください。

Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0

Capacity on Demand ソフトウェアのインストールと最新情報については、Solaris 9 9/05 on Sun Hardware Documentation Collection に含まれる『Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0 インストールマニュアルおよびご使用の手引き』を参照してください。

Netra ct Platform ソフトウェア

サブリメント CD の Netra ct Platform 1.0 ソフトウェアには、Netra ct サーバーで、環境モニター、アラーム (RSC ソフトウェア)、および SNMP モニターをサポートするために必要なソフトウェアが含まれています。

現在、Netra ct800 と Netra ct400 の 2 種類の Netra ct サーバーがあります。

このソフトウェアは、Netra サーバーではないサーバーにはインストールしないでください。

第3章

サプリメント CD に収録されている マニュアル

この章では、サプリメント CD に収録されているマニュアルの格納場所と、オンラインマニュアルのインストールおよび参照方法について説明します。

注 – サプリメント CD に収録されているマニュアル (英語版と各国語対応版) は、Web サイト <http://www.sun.com/documentation> から参照することができます。

この章では、以下の項目について説明します。

- 35 ページの「AnswerBook2 マニュアルと Solaris 9 9/05 リリース」
- 36 ページの「サプリメント CD に収録されているマニュアル」
- 38 ページの「インストールしたパッケージ内のマニュアルの参照」
- 39 ページの「Solaris 9 9/05 on Sun Hardware Documentation Set」
- 42 ページの「Sun マニュアルページのパッケージ」
- 43 ページの「サプリメント CD のその他のマニュアル」

AnswerBook2 マニュアルと Solaris 9 9/05 リリース

Solaris 9 9/05 リリースでは、AnswerBook2™ 形式のマニュアルは提供されていません。他製品の AnswerBook2 形式マニュアルについては、Solaris 9 9/05 リリースでも引き続き AnswerBook2 サーバーソフトウェアを使用して参照することができます。

製品キットに同梱されている Solaris 9 9/04 Documentation CD には、大部分の Solaris マニュアルが PDF 形式と HTML 形式で収録されています。これらの CD の内容および Solaris 9 9/05 DVD 内のイメージは、改訂不要でした。Solaris 9 9/04 と印刷されたマニュアルセットは、Solaris 9 9/05 リリースにも適合します。

この CD の内容の参照方法については、英語版とヨーロッパ言語版のマニュアルが収録されている Documentation CD をロードして次のファイルを参照してください。

```
/cdrom/sol_9_904_doc_1of2/index.html
```

Solaris 9 9/04 Documentation CD と Solaris 9 9/05 Software Supplement CD の内容は、Solaris 9 9/05 Operating Environment DVD にも収録されています。

サプリメント CD に収録されているマニュアル

マニュアルのパッケージは、サプリメント CD の以下のディレクトリに、PDF と HTML 形式ファイルで格納されています。

```
Solaris_On_Sun_Hardware_Documentation/Product
```

収録されているマニュアルのパッケージを、表 3-1 に一覧で示します。

表 3-1 サプリメント CD に収録されている Solaris 9 9/05 マニュアルの要覧

言語	形式	パッケージ名	説明
英語	PDF	SUNWdpshw	大部分のマニュアルを収録
英語	HTML	SUNWdhshw	SUNWdpshw のマニュアル類の一部を収録
フランス語	PDF	SUNWdpfrshw	大部分のフランス語マニュアルを収録
フランス語	HTML	SUNWdhfrshw	SUNWdpfrshw のマニュアル類の一部を収録
ドイツ語	PDF	SUNWdpdeshw	大部分のドイツ語マニュアルを収録
ドイツ語	HTML	SUNWdhdeshw	SUNWdpdeshw のマニュアル類の一部を収録
イタリア語	PDF	SUNWdpitshw	大部分のイタリア語マニュアルを収録
イタリア語	HTML	SUNWdhitshw	SUNWdpitshw のマニュアル類の一部を収録
スペイン語	PDF	SUNWdpesshw	大部分のスペイン語マニュアルを収録
スペイン語	HTML	SUNWdhesshw	SUNWdpesshw のマニュアル類の一部を収録
スウェーデン語	PDF	SUNWdpsvshw	大部分のスウェーデン語マニュアルを収録

表 3-1 サプリメント CD に収録されている Solaris 9 9/05 マニュアルの要覧 (続き)

言語	形式	パッケージ名	説明
スウェーデン語	HTML	SUNWdhsvshw	SUNWdpsvshw のマニュアル類の一部を収録
日本語	PDF	SUNWdpjashw	大部分の日本語マニュアルを収録
日本語	HTML	SUNWdhjashw	SUNWdpjashw のマニュアル類の一部を収録
韓国語	PDF	SUNWdpkoshw	大部分の韓国語マニュアルを収録
中国語 (繁体字)	PDF	SUNWdphshw	大部分の中国語 (繁体字) マニュアルを収録
中国語 (簡体字)	PDF	SUNWdpcshw	大部分の中国語 (簡体字) マニュアルを収録

通常の Solaris インストールを行うと、マニュアルパッケージもデフォルトでインストールされます。英語版マニュアルパッケージは必ずインストールされます。各国語対応版でのインストールを行うと、その言語のマニュアルパッケージも同時にインストールされます。

サプリメント CD に収録されている他のソフトウェアと同様、これらのパッケージはすべて、Solaris をインストールしたあとで個別にインストールすることができます。詳細は、14 ページの「サプリメント CD のソフトウェアのインストール」を参照してください。

これらのマニュアルセットには、Solaris 9 より前のリリースでは別のコレクションに AnswerBook2 形式で収録されていたマニュアルも一部収められています。このような以前の AnswerBook2 形式のマニュアルコレクションには、以下のものがあります。

- Solaris on Sun Hardware Collection (SUNWabhdw)
- Sun Enterprise 10000 SSP Collection (SUNWuessp)
- Sun Enterprise 10000 Capacity-On-Demand Collection (SUNWcodbk)
- OpenBoot Collection (SUNWopen)

Product ディレクトリには、SUNWsdocs というパッケージも格納されています。このパッケージには、インストール中に使用されて、インストールする PDF および HTML のマニュアルセットの使いやすいリンクを提供するために必要なソフトウェアが含まれています。

サプリメント CD から、PDF および HTML 形式のマニュアルを直接読むこともできます。サプリメント CD の最上位の Docs ディレクトリに index.html というファイルが含まれており、このファイルから、PDF および HTML 形式のすべてのマニュアルにリンクしています。

インストールしたパッケージ内のマニュアルの参照

インストールしたすべてのマニュアルパッケージには、`booklist.html` というファイルが含まれています。この HTML ファイルをブラウザに読み込むと、そのディレクトリに格納されている各マニュアルへのリンクが表示されます。

どの言語で PDF または HTML マニュアルセットをインストールしても、そのセットの `booklist.html` ファイルへのリンクが自動的に以下のファイルに追加されます。

```
/var/opt/sun_docs/sundocs.html
```

この HTML ファイルをブラウザで表示し、システムにインストールされているマニュアルセットへのリンクをたどってください。

注 – PDF 形式のファイルを表示できるソフトウェアが必要な場合は、Adobe® Acrobat Reader プログラムを <http://www.adobe.com> からダウンロードまたは注文することができます。

Solaris 9 9/05 on Sun Hardware Documentation Set

これらのセットには、Sun のハードウェア製品における Solaris 9 9/05 ソフトウェアの使用方法についての一般的なマニュアルと、特定のハードウェアに関する特記事項が含まれています。

表 3-2 Solaris 9 9/05 on Sun Hardware Document Collection の内容

Part No.	マニュアル名	内容
819-3182	Solaris 9 9/05 Sun ハードウェアマニュアル	サブリメント CD のソフトウェアのインストールに関する情報と、他のシステム製品のハードウェア関連トピックを記載しています。
817-3974	Sun ハードウェア Solaris リファレンスマニュアル	サブリメント CD に収録されているマニュアルページをまとめたものです。SunVTS ソフトウェアの情報を記載したマニュアルページも含まれています。
816-4631	Sun 周辺機器 使用の手引き	Solaris 9 9/05 オペレーティング環境で使用するドライブとその他の周辺機器のインストールの概要です。SCSI アドレスの設定方法などが記載されています。
817-0408	Sun フレームバッファ使用の手引き	TurboGXPlus、SX、PGX (m64)、および Creator グラフィックスアクセラレータまたはフレームバッファの各機能の使用方法を記載しています。1 台のシステムに複数のモニターを構成する方法も説明されています。
816-0867	SunForum 3.2 ソフトウェアユーザーマニュアル	SunForum 3.2 ソフトウェアの使用方法を説明しています。
816-7253	SunVTS 5.1 ユーザーマニュアル	SunVTS の基本的な使用方法について説明しています。
816-7254	SunVTS 5.1 テストリファレンスマニュアル	SunVTS で行うことができる各テストについて説明しています。
819-2823	SunVTS 5.1 Patch Set 10 Documentation Supplement	Patch Set によってベースバージョンの VTS に追加された補足情報です。
816-7252	SunVTS リファレンスカード	SunVTS の使用方法の概要を示したカードです。
816-5074	Platform Notes: Using luxadm Software	Sun StorEdge™ A5000 および SPARCstorage™ Array、Sun Fire V880 内蔵ディスクアレイで luxadm 管理プログラムを使用する方法について説明しています。
816-4660	特記事項: hme FastEthernet デバイスドライバ	Ultra ワークステーション、Sun Enterprise サーバー、SunSwift™ SBus アダプタ、SunSwift PCI アダプタ、PCI SunFastEthernet™ カードで、hme デバイスドライバを使用する場合の構成について説明しています。

表 3-2 Solaris 9 9/05 on Sun Hardware Document Collection の内容 (続き)

Part No.	マニュアル名	内容
806-5925	特記事項: Sun Enterprise 6x00、5x00、4x00、3x00 システム	Sun Enterprise x000 システムに固有の、ボードのホットプラグ操作をするコマンドを含む OpenBoot コマンドについて説明しています。また、ボードのホットプラグ操作の手順およびその他の関連情報も記載されています。
806-3871	特記事項: Sun Enterprise 250 サーバー	新しい OpenBoot コマンド、構成変数、およびディスクのホットプラグ操作の手順について説明しています。内部ストレージデバイスの論理名と物理名をマッピングする手順も記載されています。
806-3877	特記事項: Sun Ultra 450、Sun Enterprise 450	新しい OpenBoot コマンド、構成変数、およびディスクのホットプラグ操作の手順について説明しています。内部ストレージデバイスの論理名と物理名をマッピングする手順も記載されています。
816-4662	特記事項: Sun GigabitEthernet デバイスドライバ	Sun GigabitEthernet ドライバソフトウェアを設定する方法を説明しています。
816-2346	Platform Notes: SunHSI/P Device Driver	SunHSI (PCI 対応) ドライバソフトウェアの設定方法について説明しています
816-1915	Platform Notes: The SunATM Driver Software	SunATM ドライバソフトウェアの設定方法について説明しています
806-3865	Sun Enterprise 6x00、5x00、4x00、3x00 システム Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル	これらの Sun Enterprise システムで、Dynamic Reconfiguration (DR: 動的再構成) ソフトウェアを使用する方法について説明しています。
816-4665	特記事項: Quad FastEthernet デバイスドライバ	Sun Quad FastEthernet™ ドライバソフトウェアを設定する方法を説明しています。
816-4664	特記事項: Sun GigaSwift Ethernet デバイスドライバ	Sun GigaSwift Ethernet ドライバソフトウェアを設定する方法を説明しています。
816-4663	特記事項: eri FastEthernet デバイスドライバ	eri デバイスドライバを使用する場合の構成について説明しています。
816-4681	特記事項: dmfe FastEthernet デバイスドライバ	dmfe デバイスドライバを使用する場合の構成について説明しています。
816-4645	Sun Enterprise 10000 DR 構成マニュアル	Sun Enterprise 10000 システムにおける Dynamic Reconfiguration の構成情報を説明しています。
806-6967	Sun Enterprise 10000 IDN エラーメッセージ	Sun Enterprise 10000 システムにおける IDN のエラーメッセージについて説明しています。
806-6972	Sun Enterprise 10000 IDN 構成マニュアル	Sun Enterprise 10000 システムにおける IDN の構成情報を説明しています。
816-1497	Sun Fire 880 Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル	Sun Fire V880 システムで、Dynamic Reconfiguration (DR: 動的再構成) ソフトウェアを使用する方法について説明しています。

表 3-2 Solaris 9 9/05 on Sun Hardware Document Collection の内容 (続き)

Part No.	マニュアル名	内容
816-4641	Sun Enterprise 10000 SSP 3.5 インストールマニュアルおよびご使用の手引き	Sun Enterprise 10000 SSP 3.5 ソフトウェアのインストール情報とリリース情報を記載しています。
816-4639	Sun Enterprise 10000 SSP 3.5 ユーザーマニュアル	Sun Enterprise 10000 サーバー用 System Service Processor (SSP) ソフトウェアの使用方法について説明しています。
806-2249	Sun Enterprise 10000 SSP 3.5 リファレンスマニュアル	Sun Enterprise 10000 サーバー用 System Service Processor (SSP) ソフトウェアのマニュアルページです。
816-4642	Sun Enterprise 10000 Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル	Sun Enterprise 10000 システムで、DR ソフトウェアを使用する方法について説明しています。
806-2252	Sun Enterprise 10000 Dynamic Reconfiguration リファレンスマニュアル	Sun Enterprise 10000 サーバー用 Dynamic Reconfiguration のマニュアルページです。
806-5036	Sun Enterprise 10000 InterDomain Networks ユーザーマニュアル	Sun Enterprise 10000 サーバー用 InterDomain Networks (IDN) ソフトウェアの使用方法について説明しています。
806-5027	Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0 インストールマニュアルおよびご使用の手引き	Sun Enterprise 10000 サーバー用 Capacity on Demand のインストール情報とリリース情報を記載しています。
806-5028	Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0 管理者マニュアル	Sun Enterprise 10000 サーバー用 Capacity on Demand の管理方法について説明しています。
806-5029	Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0 リファレンスマニュアル	Sun Enterprise 10000 サーバー用 Capacity on Demand のマニュアルページです。
819-3187	Sun Fire ハイエンド/ミッドレンジシステム Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル	Sun Fire ハイエンドシステムと Sun Fire ミッドレンジシステムで、DR ソフトウェアを使用する方法について説明しています。
806-2966	OpenBoot 2.x コマンド・リファレンスマニュアル	OpenBoot 2.x の各コマンドの説明とその他の情報を記載しています。
806-2965	OpenBoot 2.x の手引き	OpenBoot 2.x の各コマンドを簡潔に説明しています。
806-2928	OpenBoot 3.x コマンド・リファレンスマニュアル	OpenBoot 3.x の各コマンドの説明とその他の情報を記載しています。
806-2967	OpenBoot 3.x の手引き	OpenBoot 3.x の各コマンドを簡潔に説明しています。
816-1177	OpenBoot 4.x Command Reference Manual	OpenBoot 4.x の各コマンドの説明とその他の情報を記載しています。
806-1379	Writing FCode 3.x Programs	FCode プログラムの作成に関する情報を記載しています。

表 3-2 Solaris 9 9/05 on Sun Hardware Document Collection の内容 (続き)

Part No.	マニュアル名	内容
819-2286	Sun Remote System Control (RSC) 2.2.3 リリース情報	RSC ソフトウェアのリリース情報を記載しています。
806-3987	Sun Remote System Control (RSC) Install Guide	RSC ソフトウェアのインストール情報を記載しています。
816-3233	Sun Remote System Control (RSC) 2.2 ユーザーマニュアル	RSC ソフトウェアの使用方法を説明しています。

Sun マニュアルページのパッケージ

Solaris Web Start を使用して製品をインストールしたときは、製品のマニュアルページは自動的にインストールされます。製品のマニュアルページだけをインストールし、製品はインストールしない場合は、pkgadd を使用してください。

表 3-3 サプリメント CD に収録されているマニュアルページのパッケージ

パッケージ名	名称	説明
SUNWvtsmn	Validation Test Suite Manual Pages	SunVTS のドライバとバイナリのマニュアルページ (英語)
SUNWhsipm	SunHSI/P Manual Pages	SunHSI PCI のマニュアルページ (英語)
SUNWsspnm	SSP Manual Pages	SSP のマニュアルページ (英語)
SUNWcodmn	Capacity on Demand Manual Pages	COD のマニュアルページ (英語)
SUNWrsc	Remote System Control	rscadm のマニュアルページ (このパッケージにソフトウェアとともに含まれる) (英語)

Sun マニュアルページのインストール

14 ページの「サプリメント CD のソフトウェアのインストール」を参照してください。

Sun マニュアルページの使用方法

インストールした Sun マニュアルページを表示するには、Solaris のマニュアルページを表示するときと同様に、man コマンドを使用します。これらの追加マニュアルページは、Solaris 9 9/05 on Sun Hardware Collection の『Sun ハードウェア Solaris リファレンスマニュアル』でも参照できます。

サブリメント CD のその他のマニュアル

次の表に、Solaris on Sun Hardware Collection およびマニュアルページ以外でサブリメント CD に収録されているマニュアルを示します。

表 3-4 サブリメント CD のその他のマニュアル

収録されているパス	説明
Docs/README/README_ja.html	サブリメント CD についての README ファイル

注 - ファイル名の `_ja` という文字列は、そのマニュアルが日本語版であることを示しています。

第4章

Sun のハードウェアにおける電源管理

電源管理システムは、米国 EPA (Environmental Protection Agency) のコンピュータ製品用の省電力ガイドライン (Energy Star®) に準拠しています。以下の方法でシステムの消費電力を節約します。

Sun Microsystems, Inc. では、このガイドラインに準拠するために、電力が効率的に使用されるようにハードウェアを設計しています。また、電源管理設定を構成するために、Power Management ソフトウェアを提供しています。Sun のワークステーションとデバイスは、一定時間使用されていないときに消費電力を減少させるために、省電力モードで動作させることができます。

この章は、Solaris 9 User Collection の『Solaris 共通デスクトップ環境ユーザズ・ガイド』に記載されている電源管理に関する内容を補足するものです。この章では、以下の項目について説明します。

- 45 ページの「サポートされるプラットフォームとシステム間の違い」
- 48 ページの「SPARCstation 4 に関する注意事項」

サポートされるプラットフォームとシステム間の違い

電源管理システムは、sun4m および sun4u のプラットフォームグループでサポートされています。ただし、ソフトウェアの機能とデフォルト値は、各プラットフォームグループによって異なります。詳細は、Solaris 9 User Collection の『Solaris 共通デスクトップ環境ユーザズ・ガイド』を参照してください。

注 - 電源管理システムは、sun4d のプラットフォームグループではサポートされていません。

表 4-1 電源管理システムがサポートされるプラットフォーム名とプラットフォームグループ

サンのシステム名	プラットフォーム名	プラットフォームグループ
SPARCstation 4	SUNW,SPARCstation-4	sun4m
SPARCstation 5	SUNW,SPARCstation-5	sun4m
SPARCstation 10	SUNW,SPARCstation-10	sun4m
SPARCstation 10SX	SUNW,SPARCstation-10, SX	sun4m
SPARCstation 20	SUNW,SPARCstation-20	sun4m
SPARCstation LX	SUNW,SPARCstation-LX	sun4m
SPARCstation LX+	SUNW,SPARCstation-LX+	sun4m
SPARCclassic	SUNW,SPARCclassic	sun4m
SPARCclassic X	SUNW,SPARCclassic-X	sun4m
Ultra 1 (すべてのモデル)	SUNW,Ultra-1	sun4u
Ultra 5	SUNW,Ultra-5	sun4u
Ultra 10	SUNW,Ultra-10	sun4u
Ultra 30	SUNW,Ultra-30	sun4u
Ultra 60	SUNW,Ultra-60	sun4u
Ultra 80	SUNW,Ultra-80	sun4u
Ultra 450	SUNW,Ultra-4	sun4u
Ultra 2 Creator (すべてのモデル)	SUNW,Ultra-2	sun4u
Sun Enterprise 1 Model 140	SUNW,Ultra-1	sun4u
Sun Enterprise 1 Model 170	SUNW,Ultra-1	sun4u
Sun Enterprise 1 Model 170E	SUNW,Ultra-1	sun4u
Sun Enterprise 2 Model 1300	SUNW,Ultra-2	sun4u
Sun Enterprise 2 Model 2300	SUNW,Ultra-2	sun4u
Sun Blade 100	SUNW,Sun-Blade-100	sun4u
Sun Blade 150	SUNW,Sun-Blade-100	sun4u
Sun Blade 1000	SUNW,Sun-Blade-1000	sun4u
Sun Blade 2000	SUNW,Sun-Blade-1000	sun4u

注 – SPARCstation Voyager™ は、sun4m アーキテクチャーのシステムですが、今回の Solaris リリースではサポートされていません。

システムアーキテクチャーの違いとデフォルト設定

利用できる電源管理機能は、ワークステーションの SPARC アーキテクチャーによって決定されます。システムのアーキテクチャーについては、表 4-1 を参照してください。電源管理機能のデフォルトの動作は、システムによって異なります。表 4-2 を参照してください。

表 4-2 各 SPARC アーキテクチャーで利用できる電源管理機能

電源管理機能	sun4m	sun4u (Ultra)/ Energy Star 2.0	sun4u (Sun Blade)/ Energy Star 3.0	サーバー
ディスプレイの電源管理	○	○	○	○
ディスプレイの電源管理 (デフォルトとして)	○	○	○	○
デバイスの電源管理	×	×	○	×
デバイスの電源管理 (デフォルトとして)	-	-	○	-
保存停止 - 復元再開	○	○	○	×
保存停止 - 復元再開 (デフォルトとして)	×	○	×	-
自動停止	×	○	○	×
自動立ち上がり (デフォルトとして)	-	○	×	-

注 – デバイスによっては、アーキテクチャーでサポートされている電源管理機能の一部が利用できない場合があります。

SPARCstation 4 に関する注意事項

この節では、SPARCstation 4 システムで電源管理システムを使用する際の制限事項について説明します。

SPARCstation 4 システムの外部機器用 AC 電源は、本体のスイッチと連動していません。AC 電源スイッチは、外部機器用電源からの電流を制御しないため、外部機器用電源にモニターを接続した場合は、システム本体の電源スイッチでそのモニターの電源を切ることができません。同様に、電源管理システムのソフトウェアでも、モニターの電源を自動的に切ることができません。

消費電力を節約するには、省電力ガイドライン (Energy Star) 準拠のモニターを使用してください。SPARCstation 4 の標準構成では、Energy Star 準拠のモニターを用意しています (サーバー構成の SPARCserver 4 の場合は適用されません)。

SPARCserver 4 には、本体のスイッチと連動する外部機器用のコンセントが装備されています。

OpenBoot 緊急時の処理

最新の Sun のワークステーションでは、USB キーボードが採用されたことにより、OpenBoot 緊急時の処理の一部が変更になりました。Stop-N、Stop-D および Stop-F コマンドは、従来の (非 USB) キーボードが接続されたシステムでは利用できませんが、USB キーボードが接続されたシステムではこれらコマンドはサポートされていません。従来のキーボードが接続されたシステムと、新たに USB キーボードが接続されたシステムについて、それぞれの場合の OpenBoot 緊急時の処理を以下に説明します。

- 49 ページの「従来の (非 USB) キーボードが接続されたシステムでの OpenBoot 緊急時の処理」
- 50 ページの「USB キーボードが接続されたシステムでの OpenBoot 緊急時の処理」

従来の (非 USB) キーボードが接続されたシステムでの OpenBoot 緊急時の処理

以下に示すコマンドを発行する場合は、システムの電源を投入したあと、直ちに指定されたキーを数秒間押して、キーボードの LED が点滅するまで押し続けます。

表 5-1 非 USB キーボードでの OpenBoot 緊急時コマンド

コマンド	説明
Stop	POST を省略します。このコマンドはセキュリティモードには依存しません。(注: 一部のシステムはデフォルトで POST を省略します。その場合は、Stop-D を使用して POST を起動してください。)
Stop-A	強制終了させます。

表 5-1 非 USB キーボードでの OpenBoot 緊急時コマンド

コマンド	説明
Stop-D	診断モードに入ります (diag-switch? を true に設定します)。
Stop-F	プローブを行わず、ttya で FORTH に入ります。fexit を使用して初期設定処理を続けます。ハードウェアが壊れている場合に効果があります。
Stop-N	NVRAM の内容をデフォルトに設定します。

USB キーボードが接続されたシステムでの OpenBoot 緊急時の処理

USB キーボードが接続されたシステムで Stop コマンドの機能を実行する方法について、以下に説明します。

Stop-A の機能

Stop-A (中止) コマンドは、従来のキーボードのシステムの場合と同様に動作します。ただし、マシンがリセットされたあとの数秒間は実行されません。

Stop-N の機能

▼ Stop-N に相当する機能を使用する

1. システムに電源を投入後、フロントパネルの電源ボタン LED が点滅を開始して、警告音が聞えるまで待ちます。

2. マウスをダブルクリックするような感じで、フロントパネルの電源ボタンをすばやく2回押します。

NVRAM の内容がデフォルト値に正しくリセットされたことを示す、以下の画面が表示されます。

```
Sun Blade 1000 (2 X UltraSPARC-III) , Keyboard Present

OpenBoot 4.0, 256 MB memory installed, Serial #12134241.

Ethernet address 8:0:20:b9:27:61, Host ID: 80b92761.

Safe NVRAM mode, the following nvram configuration variables have
been overridden:

  'diag-switch?' is true

  'use-nvramrc?' is false

  'input-device', 'output-device' are defaulted

  'ttya-mode', 'ttyb-mode' are defaulted

These changes are temporary and the original values will be
restored

after the next hardware or software reset.

ok
```

一部の NVRAM の構成パラメタは、デフォルトにリセットされることに注意してください。これらのデフォルトには、TTYA 設定のように問題を引き起こす可能性の高いパラメタが含まれます。これらの NVRAM 設定は、上記のように電源を入切する場合のみ、デフォルトにリセットされます。この時点で本体をリセットする以外に何

も行わなければ、NVRAM の設定パラメタの値の変更は保存されません。手動で変更した場合のみ、変更した値が保存されます。これ以外の、カスタマイズされた NVRAM 設定はすべて保持されます。

set-defaults と入力すると、カスタマイズされた NVRAM 値はいずれも破棄され、すべての NVRAM 構成パラメタは、デフォルトの設定に復元されます。

注 – 電源ボタン LED の点滅が停止し、点灯状態になったら、もう一度電源ボタンを押してシステムの電源を切断します。

Stop-F の機能

USB キーボードのシステムでは、Stop-F の機能は利用できません。

Stop-D の機能

USB キーボードのシステムは、Stop-D (診断) キーシーケンスに対応していません。ただし、電源ボタンを 2 回押す (Stop-N の機能を参照) 方法を使用することで、一時的に diag-switch? が true に設定されるため、Stop-D とほぼ同様の機能をエミュレートすることができます。常時、診断モードを有効にする場合は、以下のように入力します。

```
ok setenv diag-switch? true
```


付録 A

サプリメント CD の各言語対応パッケージ一覧

この章では、以下の項目について説明します。

- 54 ページの「日本語化されたパッケージ」
- 55 ページの「ドイツ語化されたパッケージ」
- 55 ページの「イタリア語化されたパッケージ」
- 57 ページの「フランス語化されたパッケージ」
- 57 ページの「スペイン語化されたパッケージ」
- 59 ページの「スウェーデン語化されたパッケージ」
- 59 ページの「中国語化されたパッケージ(繁体字)」
- 61 ページの「中国語化されたパッケージ(簡体字)」
- 61 ページの「韓国語化されたパッケージ」

日本語化されたパッケージ

表 A-1 日本語化されたパッケージ

ソフトウェア	パッケージ名	説明
SunForum	SUNWjadat	SunForum メッセージ (日本語 EUC)
	SUNWjpdatt	SunForum メッセージ (日本語 PCK)
Remote System Control	SUNWjersc	Remote System Control (日本語 EUC)
	SUNWjrscd	Remote System Control ユーザーマニュアル (日本語 EUC)
	SUNWjrscj	Remote System Control GUI (日本語 EUC)
SunVTS	SUNWjpvttm	SunVTS マニュアルページ (日本語 PCK)
	SUNWjuvttm	SunVTS マニュアルページ (日本語 UTF-8)
	SUNWjvttsm	SunVTS マニュアルページ (日本語 EUC)
Netra ct	SUNWjecte	Netra ct Platform マニュアルページ/メッセージ (日本語 EUC)
Solaris on Sun Hardware Documentation	SUNWdpjashw	Solaris on Sun Hardware Documentation (PDF 形式)
	SUNWdhjashw	Solaris on Sun Hardware Documentation (HTML 形式)
Lights Out Management	SUNWjlomu	ユーティリティーとデーモン (日本語)
Sun Fire B10n Content Load Balancing Blade	SUNWjeclbut	Sun Fire B10n マニュアルページ (日本語 EUC)
	SUNWjpcclbut	Sun Fire B10n マニュアルページ (日本語 PCK)
	SUNWjuclbut	Sun Fire B10n マニュアルページ (日本語 UTF-8)

ドイツ語化されたパッケージ

表 A-2 ドイツ語化されたパッケージ

ソフトウェア	パッケージ名	説明
SunForum	SUNWdedat	SunForum メッセージ (ドイツ語)
Remote System Control	SUNWdersc	Remote System Control (ドイツ語)
	SUNWdrscd	Remote System Control ユーザーマニュアル (ドイツ語)
	SUNWdrscj	Remote System Control GUI (ドイツ語)
Netra ct	SUNWdecte	Netra ct (ドイツ語 EUC)
Solaris on Sun Hardware Documentation	SUNWdpdeshw	Solaris on Sun Hardware Documentation (PDF 形式)
	SUNWdhdeshw	Solaris on Sun Hardware Documentation (HTML 形式)
Lights Out Management	SUNWdlomu	ユーティリティーとデーモン (ドイツ語)

イタリア語化されたパッケージ

表 A-3 イタリア語化されたパッケージ

ソフトウェア	パッケージ名	説明
SunForum	SUNWitdat	SunForum メッセージ (イタリア語)
Remote System Control	SUNWitrsc	Remote System Control (イタリア語)
	SUNWirscd	Remote System Control ユーザーマニュアル (イタリア語)
	SUNWirscj	Remote System Control GUI (イタリア語)
Netra ct	SUNWitcte	Netra ct (イタリア語 EUC)

表 A-3 イタリア語化されたパッケージ (続き)

ソフトウェア	パッケージ名	説明
Solaris on Sun Hardware Documentation	SUNWdpitshw	Solaris on Sun Hardware Documentation (PDF 形式)
	SUNWdhitshw	Solaris on Sun Hardware Documentation (HTML 形式)
Lights Out Management	SUNWilomu	ユーティリティーとデーモン (イタリア語)

フランス語化されたパッケージ

表 A-4 フランス語化されたパッケージ

ソフトウェア	パッケージ名	説明
SunForum	SUNWfrdat	SunForum メッセージ (フランス語)
Remote System Control	SUNWfrsc	Remote System Control (フランス語)
	SUNWfrscd	Remote System Control ユーザーマニュアル (フランス語)
	SUNWfrscj	Remote System Control GUI (フランス語)
Netra ct	SUNWfrcte	Netra ct (フランス語 EUC)
Solaris on Sun Hardware Documentation	SUNWdpfrshw	Solaris on Sun Hardware Documentation (PDF 形式)
	SUNWdhfrshw	Solaris on Sun Hardware Documentation (HTML 形式)
Lights Out Management	SUNWflomu	ユーティリティとデーモン (フランス語)

スペイン語化されたパッケージ

表 A-5 スペイン語化されたパッケージ

ソフトウェア	パッケージ名	説明
SunForum	SUNWesdat	SunForum メッセージ (スペイン語)
Remote System Control	SUNWesrsc	Remote System Control (スペイン語)
	SUNWesdcd	Remote System Control ユーザーマニュアル (スペイン語)
	SUNWesrcj	Remote System Control GUI (スペイン語)
Netra ct	SUNWescte	Netra ct (スペイン語 EUC)

表 A-5 スペイン語化されたパッケージ (続き)

ソフトウェア	パッケージ名	説明
Solaris on Sun Hardware Documentation	SUNWdpesshw	Solaris on Sun Hardware Documentation (PDF 形式)
	SUNWdhesshw	Solaris on Sun Hardware Documentation (HTML 形式)
Lights Out Management	SUNWelomu	ユーティリティーとデーモン (スペイン語)

スウェーデン語化されたパッケージ

表 A-6 スウェーデン語化されたパッケージ

ソフトウェア	パッケージ名	説明
SunForum	SUNWsvdat	SunForum メッセージ (スウェーデン語)
Remote System Control	SUNWsvrsc	Remote System Control (スウェーデン語)
	SUNWsrscd	Remote System Control ユーザーマニュアル (スウェーデン語)
	SUNWsrscj	Remote System Control GUI (スウェーデン語)
Netra ct	SUNWsvcte	Netra ct (スウェーデン語 EUC)
Solaris on Sun Hardware Documentation	SUNWdpsvshw	Solaris on Sun Hardware Documentation (PDF 形式)
	SUNWdhsvshw	Solaris on Sun Hardware Documentation (HTML 形式)
Lights Out Management	SUNWslomu	ユーティリティーとデーモン (スウェーデン語)

中国語化されたパッケージ (繁体字)

表 A-7 中国語化されたパッケージ (繁体字)

ソフトウェア	パッケージ名	説明
SunForum	SUNW5dat	SunForum メッセージ (繁体字中国語 zh_TW-BIG5)
	SUNWhdat	SunForum メッセージ (繁体字中国語 zh_TW-EUC)
Remote System Control	SUNWhrsc	Remote System Control (繁体字中国語 EUC)
	SUNWhrscd	Remote System Control ユーザーマニュアル (繁体字中国語 EUC)
	SUNWhrscj	Remote System Control GUI (繁体字中国語 EUC)

表 A-7 中国語化されたパッケージ (繁体字) (続き)

ソフトウェア	パッケージ名	説明
Netra ct	SUNWhcte	Netra ct (繁体字中国語 EUC)
Solaris on Sun Hardware Documentation	SUNWdphshw	Solaris on Sun Hardware Documentation (PDF 形式)
Lights Out Management	SUNWhlomu	ユーティリティーとデーモン (繁体字中国語)

中国語化されたパッケージ(簡体字)

表 A-8 中国語化されたパッケージ (簡体字)

ソフトウェア	パッケージ名	説明
SunForum	SUNWcdat	SunForum メッセージ (簡体字中国語 zh-EUC)
Remote System Control	SUNWcrsc	Remote System Control (簡体字中国語 EUC)
	SUNWcrscd	Remote System Control ユーザーマニュアル (簡体字中国語 EUC)
	SUNWcrscj	Remote System Control GUI (簡体字中国語 EUC)
Netra ct	SUNWccte	Netra ct (簡体字中国語 EUC) Netra ct
Solaris on Sun Hardware Documentation	SUNWdpcshw	Solaris on Sun Hardware Documentation (PDF 形式)
Lights Out Management	SUNWclomu	ユーティリティーとデーモン (簡体字中国語)

韓国語化されたパッケージ

表 A-9 韓国語化されたパッケージ

ソフトウェア	パッケージ名	説明
SunForum	SUNWkodat	SunForum メッセージ (韓国語)
Remote System Control	SUNWkrsc	Remote System Control (韓国語 EUC)
	SUNWkrscd	Remote System Control ユーザーマニュアル (韓国語 EUC)
	SUNWkrscj	Remote System Control GUI (韓国語 EUC)

表 A-9 韓国語化されたパッケージ (続き)

ソフトウェア	パッケージ名	説明
Netra ct	SUNWkocte	Netra ct (韓国語 EUC)
Solaris on Sun Hardware Documentation	SUNWdpkoshw	Solaris on Sun Hardware Documentation (PDF 形式)
Lights Out Management	SUNWklomu	ユーティリティーとデーモン (韓国語)

索引

D

Documentation CD, 36

E

EPA (Environmental Protection Agency), 45

I

ifconfig -a, 31

J

Java 3D, 32

O

OpenGL, 20

P

pkgadd

アップデート版ソフトウェアのインストール
, 15

R

Remote System Control, 25

S

Solaris Web Start 2.0, 14

Solaris のインストール, 3

SPARC アーキテクチャー, 47

sun4u UltraSPARC III (Energy Star, v3), 47

SunATM, 27

SunForum, 26

SunHSI PCI ドライバ, 27

U

USB キーボード、緊急時の処理, 50

V

VLAN

 ID, 28

 仮想デバイス, 31

 ネーミング形式, 30

VLAN の構成, 28

W

Web Start, 14

い

イタリア語化されたパッケージ, 55

インストール

- Java 3D API, 32
- Sun RSC, 25
- SunForum, 26
- SunVTS, 18
- ネットワークアダプタのドライバ, 27
- マニュアルページ, 42

か

- カーネルサポート、32 ビットおよび 64 ビット, 8
- 韓国語化されたパッケージ, 61

き

- キーボードの緊急時の処理
- 非 USB, 49

さ

- サブリメント CD
 - pkgadd のインストール, 15
 - ソフトウェアのインストール, 14
 - ソフトウェアリスト, 12
 - 内容, 42
- サブリメント CD のソフトウェアのインストール
 - Solaris のインストールの一部, 14
 - Web Start の使用, 14
 - スタンドアロンシステム, 15

し

- システムアーキテクチャー、決定, 3
- システムアーキテクチャーの違い, 47
 - sun4m, 47
 - sun4u (以前の Energy Star,v3), 47
 - sun4u (以前の Energy Star 3.0), 47
- 自動立ち上がり, 47
- 自動停止, 47

す

- スウェーデン語化されたパッケージ, 59
- スペイン語化されたパッケージ, 57

ち

- 中国語化されたパッケージ
 - 簡体字中国語, 61
 - 繁体字中国語, 59

て

- ディスプレイ PM, 47
- デバイス PM, 47
- 電源管理, 45
- 電源管理機能のデフォルト設定, 47

と

- ドイツ語化されたパッケージ, 55

に

- 日本語化されたパッケージ, 54

ね

- ネットワークアダプタのドライバ, 27

ひ

- 非 USB キーボード、緊急時の処理, 49

ふ

- ファームウェア、Sun Fire および Netra サーバーでのアップグレード, 2
- プラットフォーム、サポート, 3
- プラットフォーム名, 3

フランス語化されたパッケージ, 57
プラットフォームグループ, 3

へ

米国 EPA, 45

ま

マニュアル

HTML, 37

PDF, 37

サプリメント CD に収録されているパッケージ
のリスト, 36

マニュアルの参照, 38

マニュアルページ, 42

表示, 43

